

JA京都にのくには



# 管理記録を電子化

## JA京都にのくに システム「あい作」導入

特産「万願寺甘とう」の栽培管理記録の電子



操作説明を受ける参加者

化を進める。現在の栽培管理記録は紙ベースでの管理で、電子化することでペーパーレス化を実現し、生産者とJA間での栽培情報の共有により、栽培状況に応じた栽培情報の提供などを行う。

電子化に向け、栽培管理記録システム「あい作」を導入。同JA全体で92人、同センター管内では32人が利用、今後2年間にわたり実証試験を行う。

同JA舞鶴広域営農経済センターは4月中旬、「あい作」の研修会を開き、18人の生産者が参加した。今後は導入者などが

らの意見を参考にシステムの改善を行い、栽培記録の省力化、栽培管理への活用が期待される。